

成果の説明書

(氏名) 西川静華	(学部) 経済学部
1 重要事項	
【研究活動】	
<ul style="list-style-type: none">● 公共財の自発的供給に関する研究 以前から引き続き、供給されるためにある一定水準の貢献を必要とする公共財への自発的貢献の研究を発展させ、12月に早稲田大学WINPEC Microeconomics Workshopにて発表を行い、査読付き学術論文雑誌に投稿する準備を進めた。● 寡占市場でヴァージョニングが可能な場合の価格戦略と製品選択の研究 タブレット市場のように、同一製品の複数ヴァージョンを各企業が提供できるような市場における価格戦略と製品戦略についての研究をまとめたワーキングペーパーに更なる分析を加え、査読付き学術論文雑誌に投稿する準備を進めた。● Dynamic Volunteers' Dilemma の実験研究 新たなプロジェクトとして早稲田大学の上條教授と動学的 Volunteers' Dilemma の理論モデルと実験の構築を始めた。	
【教育活動】	
<ul style="list-style-type: none">● 講義：初級マイクロ経済学Ⅰ、Ⅱ、ゲーム理論Ⅰ 初級マイクロ経済学Ⅰは大人数講義のため対面で講義を行う傍らオンデマンド動画をYouTubeにアップロードし、毎回Formsを用いた課題を提出させた。 ゲーム理論でもオンデマンド動画を併用しつつ繰り返し演習問題を出し、隔週で課題を提出させ、期末レポートと期末試験を実施した。 初級マイクロ経済学Ⅱは対面で講義を行ったが、毎週の課題を提出させたことで例年より知識の定着が改善している印象を受けた。● 基礎演習 マイクロ経済学の教科書を輪読し基礎的な知識を身に着けると共に、時事問題についてマイクロ経済学を用いて分析する練習として様々なトピックを用いて討論した。● 演習Ⅰ 前期の前半は時事問題について経済学を用いて議論をし、その後マイクロ経済学の教科書を輪読。またグループごとに一つトピックを選ばせてマイクロ経済学やゲーム理論を用いて総括的に分析したものを論文にまとめさせた（中間発表一回、最終発表一回）。● 演習Ⅱ 前半は卒論のテーマ選びと就職活動のために時事問題について経済学を用いて議論をし、その後は各自卒業論文の執筆とその発表（中間発表二回、最終発表一回）を行った。	
【社会活動】	
<ul style="list-style-type: none">● 12月1日に群馬大学ダイバーシティ推進センターシンポジウム「ダイバーシティ環境で育む知のシナジーと研究力」にてパネリストとしてパネルディスカッションに参加した。● ラジオ高崎 ラジオゼミナールに出演した。	

2 その他の事項

【学内業務】

- 国際交流センター委員会
- 高崎経済大学経済学会 学生懸賞論文 査読
- 経済学会理事

3 次年度以降の計画・抱負

- 年度前半に二本の論文を査読付き学術雑誌に投稿し、新たに始めた実験に関する共同研究を進める
- より効率的で分かりやすい講義の運営手法を模索する
- 演習の円滑な運営と4年生への丁寧な卒業論文指導に努める